

■評価委員の検証結果及び県の評価(案)

事業年度評価(令和6年度)

資料3

	病院自己評価	県評価(案)
S評価	2	2
A評価	8	7
B評価	11	13
C評価	3	2
D評価	0	0
計	24	24

<病院の自己評価>

S	年度計画を大幅に上回って実施している。(特に優れた実績)
A	年度計画を上回って実施している。
B	概ね年度計画どおり実施している。(達成度が概ね9割以上)
C	年度計画を十分に実施していない。(達成度が概ね6割以上9割未満)
D	年度計画を大幅に下回っている。(達成度が6割未満)

<県の評価(評価委員会の検証)>

S	中期目標の達成に向けて特筆すべき進捗状況にある。
A	中期目標の達成に向けて順調に進んでいる。
B	中期目標の達成に向けて概ね順調に進んでいる。
C	中期目標の達成のためにはやや遅れている。
D	中期目標の達成のためには重大な改善事項がある。

大項目 中項目 小項目	病院 自己 評価	委員 ①	委員 ②	委員 ③	委員 ④	委員 ⑤	委員 ⑥	委員コメント	県 評価 (案)	備 考 (自己評価から変更した理由)	項目 別の ページ
第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置											
1 診療事業											
(1) 良質かつ適切な医療の提供	A	A	A	A	A	A	A	②ヒヤリハット報告が2,000件を超えており、インシデントレポートの周知が進んでいる。 ④インシデントレポートの分析に検討の余地がある ⑥「医療人育成センター」を設置し、専任のセンター長として医師1名を招へいできたこと、鳴門市との地域医療制の充実に係る合意書締結できたことは心強い	A		10
(2) 患者の視点に立った医療の提供	A	A	A	A	A	A	A	④「ご意見箱」への対応は高く評価できる ⑥「ご意見箱」でのご意見(累計73件)を真摯に受け止め、スピード感を持って改善・対応していることは、評価できる。	A		12
(3) 救急医療の強化	A	A	A	A	A	A	A	②救急搬送患者受入数は、年々順調に増加しR6年度は3,000人を超えているが、救急搬送受入率は目標値に達していない。母数の救急要請数が大きく増加したことが原因と考えられる。 ④救急車受け入れ率のUPを目指してほしい。目標設定が2つのため、両方の達成に向けて取り組みを期待する。 ⑥救急搬送患者受入件数については、目標件数を大きく上回った。しかし受け入れ率が以前より下がっているということは、救急搬送を安易に使用している事実はないか検証が必要と考える。	A		13

大項目 中項目 小項目	病院 自己 評価	委員 ①	委員 ②	委員 ③	委員 ④	委員 ⑤	委員 ⑥	委員コメント	県 評価 (案)	備 考 (自己評価から変更した理由)	項目 別の ページ
(4) がん医療の高度化	C	C	C	B	C	C	B	②がん入院患者延数、リニアック治療件数、PET-CT検査件数、外来化学療法延件数の全てが目標値を下回っており、C評価もやむを得ない。特にPET-CTの件数は低すぎるため、人間ドックでの活用等、解決策を検討する必要がある。 ③最終年度であり、中期目標との関係では、概ね順調と評価できる。 ④がん検診の件数をUPするための具体的な戦略や取り組みに期待する ⑥がん入院患者数が目標に達しなかったことが悪いことなのか。人間ドック・がん検診といった予防医療への取組、術後患者の早期離床に向けリハビリテーションの実施などの実績を評価したい。	C		13
(5) 産科医療や小児医療の充実	A	C	B	A	B	A	B	①出産数が減少している、又、小児救急体制縮小し、現在、小児救急に対応していない状態 ②吉野川北岸の分娩を一手に引き受け、努力していることは評価できる。しかし分娩数はR3から減少を続け、小児急患者受入数が激減するなど、とてもA評価はできない。 ④指標の分娩数と小児救急患者の減少からB評価とした。 助産師外来、母乳外来等の取り組みは評価できるが目標値設定がほしい。 ⑤医師の働き方改革との両立をしながら、吉野川北岸の唯一の分娩医療機関としての役割を今後も積極的に果たしていただきたい。 ⑥小児救急受入数が大幅に減っていることが気にかかる。担当の小児科医が過重労働で体調を壊したことにより、オンコール体制となったということだが、なにかいい工夫はできないかと思う。	B	助産師外来、母乳外来、産後ケアなど取組の充実を図っているが、分娩数や小児救急体制の縮小による小児救急患者受入数などが減少していることから、『B評価』とした。	15
(6) 特色ある医療の更なる推進	A	B	A	A	A	A	A	①糖尿病・内分泌センター件数、フットケア、透析予防外来の利用件数が低下しており、強化が必要 ⑤担当している医師の負担も考慮しつつ、特色ある医療の推進を進めていただきたい。 ⑥質の高いリハビリテーション提供は素晴らしい。ただ、手の外科手術、脊椎脊髄手術件数はともに減少傾向にあるのが気にかかる。患者が減っているとは思えないのだが、理由が気になる	A		15
(7) 地域住民の健康維持への貢献	A	A	A	A	A	A	A	⑥PR活動により、人間ドックの受診者増となったことや、地域の健康増進イベントに積極的に取り組んでいることは評価できる	A		16

大項目 中項目 小項目	病院 自己 評価	委員 ①	委員 ②	委員 ③	委員 ④	委員 ⑤	委員 ⑥	委員コメント	県 評価 (案)	備 考 (自己評価から変更した理由)	項目 別の ページ
2 役割・機能の最適化と連携の強化											
(1) 病院の果たすべき役割・機能の充実・強化	S	A	S	S	S	S	S	①紹介率78%の目標は87%で上昇しているが、他中核病院は紹介率はもっと高く、目標値が低いのでは?病床利用率、又地域包括ケア病床の使用率も低く、もっと利用可能ではないかと考える。 ②MRI、CT等の高額医療機器の共同利用件数にも数値目標を設定して欲しい。 ⑥患者サポートセンターにおける退院支援実施率が目標を大きく上回っている。また、在宅復帰のための身体機能強化プログラムを作成するなど新しい取り組みも積極的に行っている	S		18
(2) 機能分化・連携強化	S	A	S	S	S	S	S	①上記同様 ⑥鳴門市板野郡地区相談連携実務者会の定期開催など、地域医療支援病院として地域の医療機関と積極的に連携強化を図っていることが紹介率や逆紹介率の上昇に繋がっているのではないかと	S		19
3 感染症対策の推進	B	B	B	B	B	B	B	④感染管理認定看護師(3名と充実)のさらなる活動を期待したい ⑥感染症マニュアルや針刺し対応マニュアルを作成し、歯科医師会とも共有していることは評価できる	B		19
4 災害時における医療救護	A	A	A	A	A	A	A	①ヘリポート棟が完成し、防潮堤のみが未完成であるが、災害対策は徐々に強化されている。 ⑥大規模災害への備えは今後ますます重要性を増すと思われる。	A		20
5 医師・看護師等の確保と働き方改革											
(1) 質の高い医療従事者の確保・養成	A	A	A	A	A	A	A	②初期臨床研修医がフルマッチしたことは、特筆すべき事項である。 ④働き方改革について数値目標がほしい。職種ごとの離職率(全体、新人)、確保率および時間外時間数等を数値目標にしているかどうか？ ⑥初期臨床研修医5名のマッチング成功、人材育成計画・職種別キャリアラダーの運用により各職種において計画的な人材の育成が図られていることは重要	A		22
(2) 医師の働き方改革への対応	B	B	B	B	B	B	B	④特定行為研修修了看護師の育成計画(人数、領域等)を目標値に追加してはどうか？ ⑥医師の働き方改革については残業時間の削減目標など数値目標が必要と考える。	B		24

大項目 中項目 小項目	病院 自己 評価	委員 ①	委員 ②	委員 ③	委員 ④	委員 ⑤	委員 ⑥	委員コメント	県 評価 (案)	備 考 (自己評価から変更した理由)	項目 別の ページ
(3) 看護専門学校の充実強化	C	B	B	A	B	B	B	①地方の看護学校定員は80%を目標で、地元への就職努力をおこなっている ②卒業生の県内就職率が大きく低下し、目標値に達していないが、徳島県全体の看護学校卒業生の県内就職率を大きく上回っているため。 ③中期目標では直接的には看護学生が県内で就職することを求めていること。中期目標の文言との関係では、運動に向けて順調といえること。 ④70%に激減した理由は納得できた。未達だが努力を評価してBとした。県内就職率のみを目標にするのではなく、教員養成数や入学生数(定員充足率)も目標値に追加すればどうか？ ⑤県内就職率は下がったものの、依然として、合格率は100%並びに生徒数を維持しており高い水準にあるため。 ⑥国家試験の合格率100%を堅持しているのは素晴らしい。	B	目標値である県内就職率は達成できなかったが、県全体の県内就職率を上回っており、国家試験合格率も13年連続で100%を達成していることから、『B評価』とした。	24
第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置											
1 業務運営体制											
(1) 効果的な業務運営の推進	B	B	B	B	B	B	B	⑥離職率が年々減少しているとのことだったので、その数字なども目標にできないか	B		25
(2) 職員の就労環境の向上	B	B	B	B	B	B	B	④各資格手当(インセンティブ)を追加したことにより、モチベーションUPに期待したい ⑥目指すところをどこにするか。職員満足度アンケート調査をしたのであれば、その結果等は目標とはできないか	B		26
2 業務運営方法											
(1) 収入の確保	B	B	B	B	B	B	B	②外来、入院収益ともに、コロナ前のR1年度を超えている。しかし急性期病床の稼働病床利用率が、低下傾向にある。 ⑥1日当たりの新規入院患者数が減っている原因は何か、紹介率、救急搬送者は増えているのに。	B		27
(2) 費用の抑制	B	B	B	B	B	B	B	⑥物価高や賃金上昇の大波の中でいかに費用を抑えるかは難題だが、コロナの薬が期限切れで大量廃棄されたというニュースもあったので、そのようなムダがないか検証をお願いしたい。	B		28

大項目 中項目 小項目	病院 自己 評価	委員 ①	委員 ②	委員 ③	委員 ④	委員 ⑤	委員 ⑥	委員コメント	県 評価 (案)	備 考 (自己評価から変更した理由)	項目 別の ページ
第3 予算、収支計画及び資金計画	C	C	C	D	C	C	C	②R5年度と比較し、収益が約4億円増加しているが費用も約4億円増加しており、収支はほぼ同じ8億円の赤字となってしまった。 ③令和5年度と比較して改善状況がわずかであり、この評価をせざるを得ない。 ⑥経常収支比率90.3%はこのままでは存続できなくなる将来を示している。収益をいかに伸ばすかが今後のメインテーマとなる。	C		30
第4 短期借入金の限度額	B	B	B	A	B	B	B	③長期にわたり、適切な目標を達成しているのではないかな。	B		34
第5 重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときの計画											
第6 剰余金の使途	B	B	B	B	B	B	B	⑥学生寮のエアコンの買い替えは、必須の項目。	B		34
第7 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項											
1 施設及び設備に関する事項	B	B	B	B	B	B	B	②今後は放射線関係の高額医療機器の更新サイクルの延長などを検討すべきである。 ⑥今後、年々整備費用は増大すると思われるので、それについても対応が必要	B		36
2 デジタル化への対応											
(1) 情報システム等を活用した取組の推進	B	B	B	B	B	B	B	⑥徳島県遠隔救急診療支援システムの構築に伴い、情報連携システム(JOIN)の導入を決定とのこと、スピード感をもって関係者間で運用方針をかため運用を開始して欲しい。	B		37
(2) 情報セキュリティ対策の徹底	B	B	B	B	B	B	B	⑥ICT活用、マイナンバー保険証の普及が重要だが、それと表裏一体なのがセキュリティ対策。医療はセンシティブ情報の塊なので、対策は忘れないでほしい	B		37
3 積立金の処分に関する計画											

	委員 ①	委員 ②	委員 ③	委員 ④	委員 ⑤	委員 ⑥	委員コメント	県 評価 (案)
項目別検証を踏まえた全体についての評価	B	B	B	B	B	B	<p>①(S評価:0、A評価:8、B評価:13、C評価:3) ・業務運営上、経営的には、不十分な状態で、病床使用率を向上する努力が(救急患者の受入れ、地域紹介率を高くする)必要と思われるが、全国的に診療報酬が高くない状態で、病院経営上困難な時期と考える。全体に病院機能の強化が進んでおり順調な成果がでていいると考えられる。</p> <p>②(S評価:2、A評価:7、B評価:13、C評価:2) ・R6年度の診療報酬改定では、物価高騰や人件費増大分が十分反映されていない中、様々な努力により医業収益はやや増加している。しかし医業費用の増加がそれを上回ってしまい、昨年度と同様に約8億円の赤字決算となっている。全国の多くの公立病院・公的病院と同じ構図になっている。 ・診療報酬の期中改定や緊急的補助金等がなければ、今後も収支は厳しい状況が続くことが予想される。</p> <p>③(S評価:2、A評価:10、B評価:11、C評価:0、D評価:1) ・医業は本当に頑張っていると思うが、経営体である以上、収支の面を考慮し、この評定としました。</p> <p>④(S評価:2、A評価:7、B評価:13、C評価:2) ・職員の努力が感じられた一方、自己評価基準と照合すると全体的に自己評価が高い印象を受けた。 ・達成度の評価基準を明確に定めていただくとわかりやすい。(2つの目標に対して1つの達成でも自己評価Aがある) ・難しいと思うが、客観的な評価のため評価指標を決めてできるだけ数値目標を定めてほしい</p> <p>⑤(S評価:2、A評価:8、B評価:12、C評価:2) ・経営環境としては厳しいと考えられるが、病院内部で改善できることはまだあるとのことだったので、来年もより一層の改善を進めていただきたい。</p> <p>⑥(S評価:2、A評価:7、B評価:14、C評価:1) ・診療内容や病院としての機能については、果たすべき役割についての強い意欲と熱意が感じられるが、収支や業務運営などマネジメントについては何を目標にされているかが分かりにくい。運営の中心が医療専門職なのがその一因かと考える。医療の内容については医療職がトップとなり推し進めていくのが良いと思うが、マネジメントについては経営の視点や効率化の視点を考えられる人材が必要ではないか。</p>	B